



## 明けましておめでとうございます

きつねは、星の王子さまに言います。

「あんたが、あんたのバラの花をととてもたいせつにに思っているのはね、そのバラの花のためにひまをつぶしたからなんだよ」。水をやり、虫をとり、風から守って世話をしたからこそ、かけがえのない花と思えるのだと、きつねは教えてくれます。

今年も、「かけがえのない人生」のために、ほんの少しの時間、ごいっしょにひまつぶしをしましょう。  
(橋詰)

### ◆ 12月の例会報告

- テーマ = 今、なぜホスピス？  
講師 = あいちホスピス研究会代表 永井照代  
日時 = 12月17日(金) 10時 ~ 12時  
場所 = 岡崎勤労福祉会館  
参加数 = 会員19名・その他10名  
内容 = <「たんぽぽの会」のある会員例から>

両方の乳ガン、卵巣と骨に転移。中学2年と小学年の息子をご主人に託し、さきに天国に逝くつもりで子供たちに母親がどう生きたのか、残しておきたいと思ったところが、そのご主人がクモ膜下出血で先に帰らぬ人になってしまった。彼女は、「延命治療をしない」と家族にも病院(一般病院)にも伝えてあったが、最期の時になってある親族の強い言葉で、意図としない治療が行われてしまった。主治医・看護婦長に気持ちが伝えてあったにもかかわらず、タイミングが悪く意志は伝えきれなかった。

最期をどうしたいか準備してきたのに、やってほしいことが、やってもらえなかったという話に、私たちは普段、家族・病院以外に、親族にも気持ちを伝えておく必要があるということを感じました。

また、「会いたくない」という本人の気持ちを尊重し、お見舞いに行かないという「お見舞い」も大切であることを知りました。

### ◆ 報 告

#### 1. 12月22日(水) 県立愛知病院でのクリスマスコンサートに参加

県立愛知病院でのクリスマスコンサートに、私たち会員もちょっと参加させて頂きました。医療スタッフの方々も暖かく迎えて下さり、夕方のおあわただしい時間に練習が4回ほどありました。

当日、ハミングをバックに看護婦さんの「来年のクリスマスは自宅で迎えられるように」という暖かい言葉も入り、患者さんたちも感激して涙ぐむ一コマもありました。胸一杯の満足感は言葉には言い表せられないほどでした。

突然のお誘いでしたのでみなさんにご案内できませんでしたが、またの機会に、暖かい気持ちになりませんか？

## ◆お知らせ

### 1. 手縫いの会の日時と会場が決定

日時：毎月第2火曜日 10時～12時

場所：県立愛知病院1階の機能訓練相談室(または看護相談室)で行うことに決定しました。

沢柳看護部長のご配慮で、院長・事務長のご理解を得、手縫いの会の場所を提供していただけることになりました。場所には苦勞していただきましたので、大変ありがたいお話です。私たちは病院を利用されている患者さんたちへの配慮をしながら出入りさせていただきたいと思っておりますのでご協力をお願いします。

<例：駐車場は遠くに停める。動作は静かに。私語は慎む>

※病院での雑巾が不足していて、現在市販のものを購入しているそうです。水分を吸収しにくく使いにくいのでやはり手縫いの雑巾がいいということでした。雑巾を縫ってくださる方、届けてくださる方、タオルを寄付してくださる方、など身近な方に声をかけてください。

## ◆ご案内

### 1. 2月

手縫いの会	日時	2月 8日 (火)	10時～12時	県立愛知病院機能訓練相談室
例会	日時	2月18日 (金)	10時～12時	県立愛知病院地域研修室
	テーマ	「一般病院だからこそできるホスピスケア」		
	講師	安江満吾 県立愛知病院副院長		

### 2. 3月

手縫いの会	日時	3月14日 (火)	10時～12時	県立愛知病院機能訓練相談室
例会	日時	3月17日 (金)	10時～12時	岡崎勤労福祉会館 (予定)
	テーマ	「お茶会」		

### 3. ボランティア登録者募集

先月号でお知らせした市民病院でのボランティア募集の件です。

9時～11時半まで、一ヶ月に一回でもいいそうです。大変不足しているそうですので、まずは一緒に、一日ボランティア体験からしてみませんか。申し込みは下記をお願いします。

橋詰 1564-53-3100

小野 0564-24-8518

## ◆概要 平成11年12月現在の会員数45人

### 伝言板

#### 12月例会参加しての感想

- ・ 「親が子どもに現実を伝えることは、いつか必ず伝わる」「家族の生活を大切に病気をしてからでなく、普段の生活が大切」など当たり前のことだけれど、わかっていなかったことを知ることができて良かったと思います。
- ・ 生と死を考える機会とか場所、同志などなかなか今まで出合えなかったけれど、今日は心を開いて人と時間を共にもてたこと、うれしく思いました。これからもご縁がありましたら是非参加させて頂きたいと思っています。本当にありがとうございました。感謝
- ・ 本当によいお話をありがとうございました。興味だけで、この世界には全く無知ですが今後の自分の老後も踏まえながら、“死”をみつめるお話を聞く機会を得たいと思います。
- ・ 私が特に共感を覚えたことは、やってあげたいこと(ボランティア)と、やってほしいこと(本人)が違うということ。この辺が一番気を使うことであり、ボランティアの本随のように思いました。

